

1 生徒会

豊栄高校の生徒会活動を紹介します

自分たちの
手で楽しもう、
生徒会！

豊栄高校では、
生徒が企画して行う行事があります。
部活動以外の活動の場として、
生徒会役員として活動してみませんか？
生徒会役員をやりながら部活動にも
取り組んでいる生徒もいます。



1 生徒会活動を通してできた成長

令和元年度 生徒会長 丹 秀人

私が生徒会長として活動した1年間は、とても充実した1年でした。人前に出ることが苦手で、最初は不安だった私も、副会長をはじめとする生徒会のみんなと一緒に様々な行事の運営を行っていく中で、成長することが出来ました。

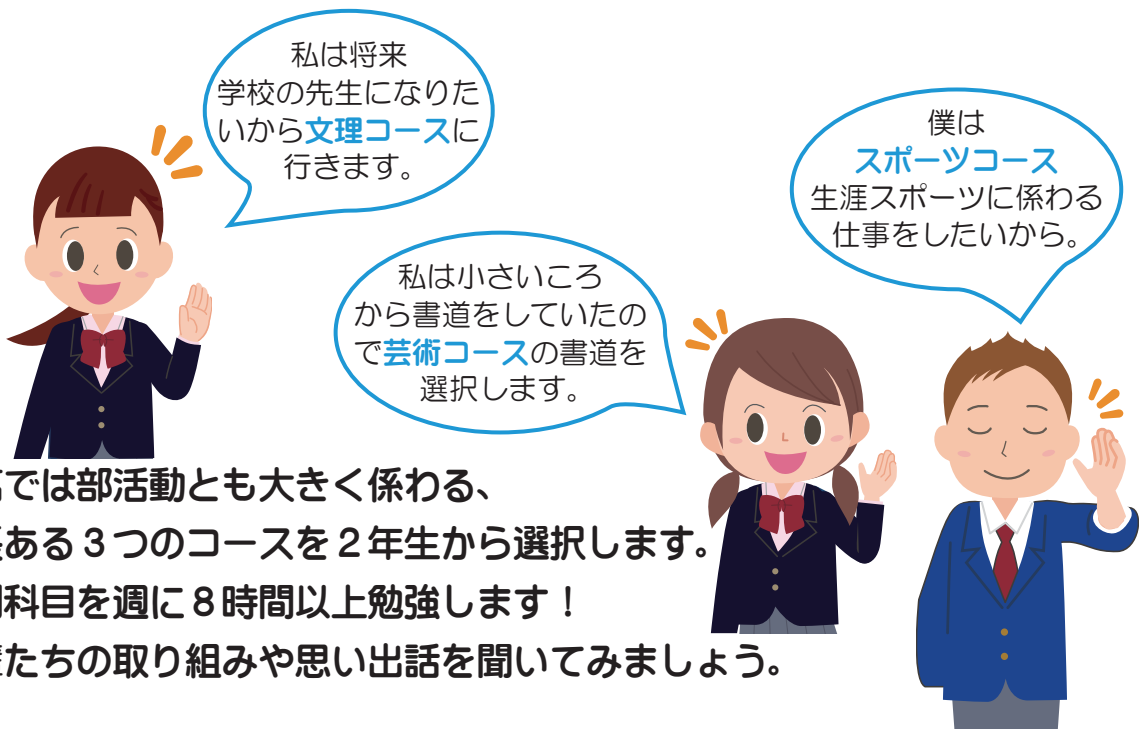
生徒会の仕事は、生徒一人ひとりにとって高校生活が最高の思い出となるようにすることだと思います。そのために行事の企画には、手を抜くことは出来ません。放課後遅くまで生徒会室に残り、意見を出し合いました。

生徒会の良いところは、自分たちの意見をそれぞれの行事に反映させることができるということです。今年度は「令和最初の」ということで、「今までにないことをやろう！」と新しい企画を考えました。体育祭では保護者の皆さんにも参加してもらった「〇×クイズ」、文化祭では「カラオケバトル」を企画しました。どちらの企画もとても盛り上がり、その歓声と笑顔に「やって良かった！」と手ごたえを感じました。

この1年間、みんなで様々なことに挑戦してきました。私たちと共に成長してきた後輩たちが、これからどんな挑戦をしていくか、楽しみにしています。



2 部活動とも連動した3コース



豊高では部活動とも大きく係わる、
 特長ある3つのコースを2年生から選択します。
 専門科目を週に8時間以上勉強します！
 先輩たちの取り組みや思い出話を聞いてみましょう。

1 続けることによって受賞した優秀賞

芸術コース書道選択 3年 小林 優花

私は高校に入学して書道部に入りました。書道部に入れば字が上手になると思っていました。けれどもなかなかうまくいかないことばかりでした。どんなに頑張っても、先生に全然褒めてもらえず、このままだけでは頑張っても意味がないのではと思い悩むことがたくさんありました。

しかし、このままで終わるのはイヤだと思い、先生のアドバイスをいかし、たくさん練習しました。すると、先輩に「上手になったね」と言われたり、家族や友人に褒められるようになって、とてもうれしくなりました。

書道部に入ったおかげで、書道の授業で製作した岐阜女子大学のデザイン書道で優秀賞を獲ることができました。大変な思いをたくさんしましたが、認めてもらうなど成果は必ず出ます。これからも頑張っていきます。



友だち

スマホ・ケータイの使い方

学習と進路

生徒会と部活動等

心と体

3 部活動等

部活動等を愛する先輩からのメッセージ

部活動等について、
先輩からメッセージが
届いています。

豊栄高校には、
いろんな部活動等があります。
何か夢中になるものをみつけませんか？

陸上競技 卓球 サッカー バドミントン 柔道
ソフトテニス 野球 バasketボール テニス
書道 ファインアート（美術・写真・PC）



1 部活動で学んでいること

サッカー部 3年 上田 颯樹

私は高校に入学してサッカー部に入部しました。小学生の時から9年間ずっと続けていて高校でもやりたいと思っていたことがきっかけです。

私は部活動で学んでいることは2つあります。

1つ目は、辛い時や苦しい時こそ、自分たちの気持ちが折れたりしなければ最後までやり切ることができるということです。サッカーは試合中、常に走り続ける体力が必要です。そのため練習でたくさん走ることがあります。そんな辛い時や苦しい時ほど誰か1人でも声をかけて「みんなで頑張ろう！」という、その一言をかけてあげるだけでも言った方も言われた方も「1人じゃない、みんながいる！」という気持ちになり、最後まで走ることができるということを学びました。

2つ目は、挨拶です。学校で、すれ違う先生に挨拶をすることや、練習中に体育館を通る先生や目上の方には挨拶をするということを顧問の先生は徹底していたので、他のチームの人に会ったら挨拶、試合会場のいる人に挨拶と率先して挨拶をしています。

最後に、部活動を通じて周りの人から支えられている感謝、自分自身も誰かの役に立っていることの大切さも学んでいます。これは部活動に限らず日常生活でも同じことです。これからも応援してくれる人や仲間のためにも最後まで頑張りたいと思います。みなさんも充実した高校生活を送ってください。



2

学校生活を改善しインターハイへ

柔道部 3年 浅見 蓮太

昨年、1・2年生チームで参加した県総体では、団体・個人戦とも思うような結果を出せませんでした。そこで練習だけでなく、普段の学校生活から日頃の清掃まで、練習以外の準備を見直すことにしました。

学校生活では靴の潰し履きをしないことや、立ち止まって挨拶するなど、簡単なことを当たり前に行えるようにすることが必要だと思いました。また、練習に集中できるよう、柔道場はもちろん、校舎の清掃も行っています。隅々まで綺麗にすることを心がけ、ゴミ一つ無い環境で練習できれば、きっと成果も上がると思います。

私たちの最終目標は県総体で優勝し、インターハイに出場することです。当たり前の事を積み重ね、厳しい練習を乗り越え、チーム一丸となって頑張ります。



3

少数精鋭！

ソフトテニス部 2年 前田 広夢

昨年1年間、ソフトテニス部は2年生男子3人で活動してきました。ソフトテニスは個人戦といってもダブルスが基本です。また、団体戦に出場するには6人必要です。結果的に、団体戦に出ることはできず、ダブルスもペアを変えながら3人で廻すしかありませんでした。練習で一番困ることは、メニューに制限があるということです。「3人」ということは、ゲーム形式の練習がほとんどできないということです。そのため、学校での練習は「基本練習の徹底」しかありません。地味だし面白くはないですが、このことが奏功したのか、秋地区大会では、ダブルスとシングルスでともに勝ち抜き、県大会への出場権を獲得することができました。特にシングルスではベスト8と3位という結果を残すことができました。

今の目標は、県大会でも通用するような選手になることと、団体戦に出場することです。

